

校長室から
(H30年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 7

平成30年5月7日(月)発行

ある新聞記事より

読売新聞4/28朝刊より

独立行政法人・国立青少年教育振興機構が行った国際比較調査で、日本の高校生の自己肯定感は過去に比べて改善したもの、依然として各国の中では最も低いことがわかった。同調査では、日本の女子高校生の半数以上が、自分は「太っている」と考えていることも分かっている。

この調査は昨年9～11月に行われ、日本、米国、中国、韓国4か国の高校生計8480人が回答した。自己肯定感について尋ねた「私は価値のある人間だと思う」という項目に「そうだ」「まあそうだ」と答えた日本の高校生は44.9%だった。2010年の調査より8.8ポイント増えたものの、米国は83.8%、中国80.2%、韓国83.7%で依然、大きな差があった。

日本の高校生 依然低い自己肯定感

4か国調査「価値ある人間と思う」44.9%

◆日米中韓高校生の自己肯定感(%)

	韓国	中国	米国	日本
体力に自信がある	51.6	60.8	72.5	37.9
人とうまく協力できる	87.1	89.5	89.4	71.0
「まあそうだ」と答えた	84.7	80.4	89.8	68.7
いまの自分に満足している	70.4	62.2	75.6	41.5
私は価値のある人間だ	83.7	80.2	83.8	44.9

※国立青少年教育振興機構の調査結果より作成

◆日本の高校生のネット利用時間別自己肯定感(%)

	1時間未満	1時間～3時間未満	3時間以上
人とうまく協力できる	73.9	72.5	67.6
「まあそうだ」と答えた	74.6	70.0	64.3
あまり得意なことがない	49.8	58.9	62.3
体力に自信がある	43.0	40.5	32.4

ネット利用時間と関連も

また「いまの自分に満足している」の項目は、日本は10年比16.8ポイント増の41.5%だったが、米中韓は62.2%、75.6%、83.8%だった。この項目でも、日本は他の3

か国より低い数値だった。

調査では、日本の高校生を対象に、インターネットの利用時間と自己肯定感などの関係についても分析した。その結果、ネットの利用時間が長い生徒は、自己肯定感が低くなる傾向が見られた。

「体力に自信がある」に「そうだ」「まあそうだ」と答えたのは、ネットの利用時間が「3時間以上」の生徒で32.4%、「1～3時間未満」は40.5%、「1時間未満」が43.0%だった。「あまり得意なことがない」という項目では、ネットの利用時間順にそれぞれ62.3%、58.9%、49.8%だった。

同機構の担当者は「ネット利用時間の短い生徒ほど自己肯定感が高いのは、注目すべき点だ」としている。

自らの存在をかけがえのないものと肯定的に受け止める感情、それが自己肯定感です。この感情が高くなれば、少々のことではめげない意思力、そして自らの潜在的な伸びしろを意欲的に拓こうとする行動力が強くなると言われています。その向上を図るための推進力は、もちろん子どもたち自身の努力ですが、この推進力に他の力が加われば、子どもたちの自己肯定感は加速度的に向上するのです。その力とは、私たち大人の働きかけであり、これが生徒指導の重要な役割なのです。

それでは、どのような働きかけが大切なのでしょう。その姿勢を考えると、教えとなるものがあります。それは、画家の山下 清さんが通った学校八幡学園の標語「踏むな 育てよ 水そそげ」です。これは、その子らしさ、その子の伸びしろを踏まず、育てよ、そして、その子その子の成長に必要な水を注ぐという教えなのではないでしょうか。

意欲を高める「はひふへほ」

- は：励ます。温かい一言は、元気が出ます。
- ひ：否定しない。否定や批判、非難では人の心は動きません。自尊心も大事です。
- ふ：深める。心を深くよせる。自分が関心をもたれていれば、心が前向きになります。
- へ：偏見を持たない。認められたいという気持ちは、誰でも同じです。
- ほ：ほめる。こころからほめる。特に根拠をもった賞賛は、先の見通しまで与えます。

「励ます」「否定しない」「深める」「偏見を持たない」「ほめる」どれも大切なことばかり。まず、どれか一つでも実践できるといいですね。どれが一番難しいですか？意欲を高めるには、子ども一人ひとりが努力したこと、頑張ったことをしっかりと受け止めることですよね。自分自身の言動が認められて、嬉しく感じるのは大人もいっしょ。子どもであればそれ以上です。ほめられて怒る人はいないですから。

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」 ロン・クラーク 草思社

ルール32 だれかとぶつかったら、あやまろう

だれかがぶつかってきたら、自分が悪くなくても「すみません」と言おう。●ぶつかってしまったら、だれかに迷惑をかけそうになったとき、すぐに「すみません」とか「ごめんなさい」と言うのは、大人になってからも大切な、基本的なマナーだ。